

副理事長基本方針

副理事長 小野 篤志

現在日本は他の国と比べても重度な少子高齢化社会になっており、未来の担い手として子供たちに期待する部分が大きくなっています。しかし現在の子供たちを取り巻く環境は核家族化や少子化の進展により心の成長の糧となる体験活動や地域社会との交流する機会が減少しています。次代を担う子供たちを大人が導き郷土の伝統文化を学び道徳感を育むことで他者をおもいやり何事にも挑戦し強く優しい心をもった人を育てることが必要です。

まずは、我々が率先して我がまちの伝統文化を学び、生まれ育った場所をより誇りに思える機会を創出します。そして、我々が子供たちの心に共感し寄り添っていくために、子供たちと同じ立場になって、物事を深く考えることで共に成長することが出来ます。さらに、子供たちと共に学び共に成長することで、現代の子供たちを取り巻く課題解決の手がかりを見つけます。また、子供たちが挑戦し努力する大切さを学ぶために、くやしさを嬉しさの中から生まれる感動を体感できる事業を行います。そして、子供たちがすぐには理解できなくとも、将来大人へと成長した時にこそ開花し、魅力的な人となるために、行ったこともない場所へ自ら赴き色々な体験をすることで、物事の良い面だけを捉える考え方や仲間の事を思いやる優しさや相手の立場を尊重する心を醸成し、失敗を恐れずに勇気をもって、挑戦する機会を創出します。さらに、子供たちが自ら創造し積極的に発信する力を養うために、生まれ育った地域の事業に参加し、おもてなしの心を育み、伝統と文化を守り伝える事の尊さを知り、子供たちが働くことで喜びと感動を体感する事業を行います。

我々にしかできない青少年健全育成事業を行う事で、郷土の伝統文化を学び、古来日本人にある道徳心を育み、何事にも挑戦し努力することができる様になり、子供たちと我々の未来に向けての一助となって、明るく豊かな社会の実現へと繋がると確信しております。